

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2025 年度 事業報告
(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2025 年度は、ポストコロナ社会における行動変容への継続した対応や助成先団体へのヒアリングを通じたニーズ調査、一部事業に係る社会的インパクト（アウトカム）調査を通じて、これまでの取組みを継続・深度化するとともに、2024 年度に引き続き公益充実資金を活用し、令和 6 年能登半島地震の被災地・被災者支援活動に対する助成(特別枠)の募集を行う等、「安全で安心できる社会づくり」に貢献するという当財団の目的に沿って、主催事業及び助成事業を着実に実施した。

また、主催する各種事業や助成事業の成果等について、PRTIMES 社のプレスリリース配信サービスや、Facebook 広告や Google 広告をはじめとした SNS 広告を積極的に活用し広く情報発信を行うとともに、2025 年 4 月の公益法人制度改革のもと、定款変更や規程類の再整備を行うなど、更なるガバナンスの充実と透明性の向上に努めた。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

コロナ禍を経て、「いのち」や「グリーフケア」等の重要性が増す中、引き続き、多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的として、「いのちのセミナー」を 6 回開催した。

なお、聴講者のニーズを踏まえ、場所・時間等の制約がない「WEB 配信」を基本としつつ、「臨場感のある会場開催」も実施した。

＜第 1 回 開催概要＞ 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,853 回

配信期間：2025 年 6 月 23 日(月)～9 月 30 日(火)

講師：片岡 妙晶 氏（真宗興正派 慈泉寺 僧侶・教誨師）

演 題：今、心に仏あり ～自利利他円満～

＜第 2 回 開催概要＞ 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 414 名、ライブ配信 121 名

開催日時：2025 年 7 月 26 日(土) 13 時 30 分～15 時 00 分

講師：藤岡 陽子 氏（作家・看護師）

演 題：言葉の力で未来を変える

＜第 3 回 開催概要＞ 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,818 回

配信期間：2025 年 9 月 26 日(金)～2026 年 1 月 6 日(火)

講師：四宮 敏章 氏（奈良県立医科大学付属病院 緩和ケアセンター長）

演 題：がんと向き合うあなたへ ～「生きる」を支える緩和ケア～

<第4回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※視聴回数：2,237回

配信日時：2025年12月24日(木)～2026年3月31日(火)

講師：黒川 雅代子氏（龍谷大学社会学部 教授）

演題：あいまいな喪失とは ～行方不明者の家族の事例を通して～

<第5回 開催概要> 会場開催及びライブ配信 ※会場242名、ライブ配信317名

開催日時：2026年2月28日(土) 13時30分～15時00分

講師：桑山 紀彦氏（NPO法人地球のステージ代表理事 海老名こころのクリニック院長）

演題：心の傷とどう向き合うか

<第6回 開催概要> 「YouTube」による録画再配信

配信期間：2026年3月19日(木)～2026年6月30日(火)（予定）

配信内容：2023年6月から2024年3月にかけて実施したセミナーの再配信（3回分）

・関本 雅子氏 「がんで他界した息子を看取った緩和ケア医の思い」
～2年半の闘病生活に伴走して～

・林 覚乗氏 「心ゆたかに生きる」

・村上 靖彦氏 「ケアとは何か」

(2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切にする「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、通算7回目となる作文コンクールを以下のとおり実施した。

<実施概要>

テーマ：あなたにとっての「いのち」

募集期間：2025年7月1日(火)～9月12日(金)

募集対象：近畿2府4県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）に在住・在学の小・中学生

選考委員：菊池 省三氏（教育実践研究家） 重松 清氏（作家） 藤岡 陽子氏（作家・看護師）

応募状況：3,846人

表彰：大賞（4人）、優秀賞・選考委員特別賞（6人）、優秀賞（20人）、入選（70人）

表彰式：2026年1月25日(日) 14:00～15:30 新大阪ワシントンホテルプラザ

作品集：2026年1月に900部発行、財団HPでも公開

(3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材を養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

2025年度は、「グリーフケア人材養成課程（大阪・2年制）」に26名が入学し、26名全員が2年次に進級するとともに、在籍する2年次生のうち23名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会の「臨床スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す「資格認定課程（1年制）」には12名が入学し、12名が同課程を修了した。

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

多発する大規模災害に備え、想定内を増やして想定外を減らすことを考え、今後の災害に対する身近な備えを考えていただくことを目的にセミナーを開催した。

なお、安全セミナーの開催とあわせて、セミナー終了後、希望者に対して「AED訓練器と訓練用
人形の体験」の場を提供した。

<開催概要>

開催方法：会場（新大阪ワシントンホテル）及びZ o o mウェビナーによるハイブリッド方式
開 催 日：2025 年 10 月 18 日（土） 13：30～15：00
講 演：サニー カミヤ 氏（一般社団法人日本防災教育訓練センター 代表理事）
演 題：大規模自然災害対策：助~~か~~ける命を助けるために！
～想定内を増やして想定外を減らす
参加者数：会場 85 名 ライブ配信 34 名
※ 終演後、希望者に対し A E D 訓練器・訓練人形の体験（約 30 名）

(2) A E D 訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

① 2026 年度 A E D 訓練器等の助成（募集、審査、決定）

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通り
A E D 訓練器・訓練人形を助成した。

	NPO	学校	会社	その他 法人	任意 団体	その他	計
応募件数 (セツ)	2(6)	2(11)	3(6)	6(21)	6(17)	1(3)	20(64)
助成件数 (セツ)	-(-)	-(-)	2(2)	4(7)	3(7)	-(-)	9(16)

② 2025 年度 A E D 訓練器等助成事業活動成果報告会

助成期間（3 年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的と
して、前年度に続き、活動成果報告会を以下のとおり開催した。

<開催概要>

開催日時：2025 年 7 月 6 日（日） 14：00～17：00
場 所：ホテルヴィスキオ尼崎 2 階 オーク・ウエスト（報告会）、同イースト（意見交換会）
参 加 者：30 名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）
そ の 他：卒業団体への感謝状・記念品の贈呈（5 団体）、助成団体による活動成果発表（2 団体）
岸本 正文氏（特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会 理事長）による救命処置
に関する講演
各団体及び A E D 訓練器等助成事業審査委員会委員との意見交換会

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。

また、昨年度に続いて、いのちの電話（近畿ブロック7団体）において、団体間の連携強化を図るために実施している「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」に対しても助成を行った。

(2) 関西遺族会ネットワークへの助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会（定例会）の開催に対し、助成を行った。

4. 公募助成事業

(1) 2026年度公募助成（活動及び研究）の実施（募集、審査、決定）

設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。研究助成に関しては、2021年度より、その成果の質的向上のほか、社会において活用されることを促すことを目的に複数年(2年)助成制度を開始した。また、甚大な災害が発生した場合には、別途、被災地・被災者支援活動の助成を目的に、活動助成（特別枠）を設定している。

今年度は、前年度に採択した2025年度研究助成（2年助成）6件全ての継続を決定するとともに、2026年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について公募を実施し、審査のうえ、応募のあった94件のうち、30.8%に当たる29件を採択した。また、公益充実資金を活用した、能登半島地震の被災地・被災者支援活動に係る活動助成（特別枠）については、審査のうえ、応募のあった23件のうち、47.8%に当たる11件を採択した。

これにより、2026年度は、「継続」6件・778万円、「新規」29件・2,280万円、合わせて総計35件・3,058万円の助成を行うとともに、特別枠については11件・550万円の助成を行った。

区分		応募件数	助成件数	助成金額
継続	研究助成（2年目継続）	—	6件	778万円
新規	活動助成	48件	19件	805万円
	研究助成 ※	46件	10件	1,475万円
小 計		94件	29件	2,280万円
総 計		—	35件	3,058万円
活動助成（特別枠）		23件	11件	550万円

※2026年度研究助成のうち、複数年(2年)助成は、5件・735万円（2年目640万円）

(2) 第15回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2024年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を以下のとおり開催した。

<開催概要>

開催日時：2025年9月12日(金) 14:00～17:00

場 所：新大阪ワシントンホテルプラザ2階 ルミエール(発表会)、同老松・若竹(交流会)

参加者数：約70名(発表者、傍聴者、当財団役員・委員等)

そ の 他：成果発表会(活動5団体、研究者6名、白取委員長による講評)

※一層の質的向上を目的に、団体・研究者の関係者にも参加を呼びかけ
意見交換会(出席団体の活動報告書ポスター掲出を含む)

Ⅱ 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回（2025年6月19日、うち、書面開催0回）

決議事項等：定款の変更、2024年度計算書類等の承認、評議員の選任、評議員会長の選定、理事の選任、監事の選任、役員等選任基準の制定

(2) 理事会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

[第1回 2025年5月30日]

2024年度事業報告及び計算書類等の承認、事業審査評価委員会委員の選任、AED訓練器等助成事業審査委員会委員の選任、評議員会の招集、自律的なガバナンス充実のための諸規程制定等の承認

[第2回 2025年6月19日 書面開催]

代表理事（理事長）及び業務執行理事の選定並びに常務理事の選定

[第3回 2025年12月2日]

「上智学院、いのちの電話、あしなが育英会」への助成実施の承認

[第4回 2026年3月9日]

2025年度収支予算の変更及び特定費用準備資金の積立ての承認、
2026年度公募助成（活動及び研究）の採択決定等の承認、
2026年度「上智学院、いのちの電話」への助成の承認、
2026年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、
2026年度基本財産の運用基本方針の承認、基本財産としての寄付拠出の受入れ等の承認、
2026年度事業計画及び収支予算の承認、
2027年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、
2027年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2025年5月23日]

2024年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、
2024年事業報告(案)、2026年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言、
2025年度公募助成の助成対象事業中止の申し出

[第2回 2025年7月1日 書面開催]

事業審査評価委員会委員長の選定

[第3回 2025年12月15日]

2025年度研究助成(2年助成)の助成継続可否、2026年度公募助成(活動及び研究)の審査

[第4回 2026年2月5日]

2026年度助成先の審査、2026年度公募助成(活動及び研究)の審査、
2026年度事業計画(案)に対する指導・助言

(4) A E D 訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

〔第1回 2025年5月12日〕

2024年度A E D訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、
2026年度A E D訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言

〔第2回 2026年1月16日〕

2026年度A E D訓練器等助成事業の審査

2. ガバナンスの充実・透明性の向上

(1) 規程の制定等

- ・リスク・コンプライアンス管理規程制定（2025年6月1日施行）
- ・コンプライアンス通報者保護規程制定（2025年6月1日施行）
- ・監事監査規程改正（2025年6月1日施行）
- ・定款変更（2025年6月19日施行）
- ・情報公開規程改正（2025年6月19日施行）
- ・公益充実資金等取扱規程改正（2025年6月19日施行）
- ・経理規程改正（2025年6月19日施行）
- ・役員等選任基準制定（2025年7月1日施行）

(2) 組織運営等

- ・勤務管理システムの導入（2025年10月1日 運用開始）
- ・経費精算、ワークフロー、仕訳処理システムの導入（2026年3月1日 運用開始）

(3) その他

- ・財団ホームページにおける情報開示
（2024年度事業報告書、2025年度事業計画書、公益充実資金等取扱規程）

3. その他

(1) 基本財産の運用等

前年度から保有する基本財産 20 億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20 年物）により 10 億円、国債（20 年物）により 10 億円を継続して運用するとともに、新たに西日本旅客鉄道株から基本財産増額分として 20 億円の寄付拠出を受け入れた（2026 年 3 月 31 日）。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行うとともに、公募助成やA E D訓練器等助成で当財団が助成を行っている団体の取り組みを紹介した。また、事業実施時において、J R 主要駅へのポスター・パンフレット掲出や記者クラブを通じたプレス発表に加えて、S N S（Facebook 企業ページ・Facebook 広告・Google 広告）を活用した情報発信やPRTIMES社の非営利団体活動支援プロジェクトに参画しネット媒体への情報提供も行った。

このほか、財団紹介用パンフレットの制作・配布、広報誌「Relief」の発行（2025年5月、11月）、

並びに「いのちの作文コンクール」作品集の製作及び参加校や地域の図書館等への配布など、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・第2回いのちのセミナー参加者募集 … 交通新聞（2025年6月18日）
※ネット27媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・いのちの作文コンクール小・中学生の作品募集 … 紀伊民報（2025年6月18日）
※ネット26媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・2025年度公募助成を募集／AED訓練器等助成先を募集 … 交通新聞（2025年8月13日）
※ネット17媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・安全セミナー参加者募集 … 交通新聞（2025年8月25日）
※ネット33媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・いのちの作文コンクール表彰式 … 交通新聞（2026年2月16日）

[ネット媒体のみ]

- ・第1回いのちのセミナー … 38媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・第3回いのちのセミナー … 32媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・第4回いのちのセミナー … 25媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・第5回いのちのセミナー … 28媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・第6回いのちのセミナー … 25媒体（時事ドットコム・毎日新聞デジタル・産経デジタル 等）
- ・いのちの作文コンクール受賞作品決定 … 26媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン 等）
- ・AED訓練器等助成先決定 … 25媒体（時事ドットコム・毎日新聞デジタル・東洋経済オンライン 等）
- ・公募助成先の決定 … 24媒体（時事ドットコム・毎日新聞デジタル・東洋経済オンライン 等）